

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山商業高等学校
学校番号(25)

評価実施日	書面開催	令和3年2月24日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	金井マキ	旭町自治会役員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	楠本雅人	松山市教育支援センター教育指導員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	藤島寛昌	ローブウェー商店街「ギャラリー絵夢」社長	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	好岡昭子	主婦	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	藤岡大輔	焼肉牛大GYUDA I	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	川崎豊	松山市立東中学校長	学校関係者評価委員
	田村有希	全日制PTA会長	学校関係者評価委員
	西田美由紀	全日制PTA副会長	学校関係者評価委員
	岡田良子	定時制PTA会長	学校関係者評価委員

全日制

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none">全商検定試験で、1級三種目以上の合格者が過去最高になり、教員の熱心な指導と生徒の努力に感心した。タブレット等ICT器機を活用した学習は、どんな校種の学校においてもより充実させていく必要がある。タブレットを有効に活用した授業を参観したい。商業高校として、地域イベントへの参加や社会福祉施設への訪問は、生徒の将来に大きな経験として生きてくると思う。 <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none">新型コロナウイルス禍で就職率等を心配していたが、評価は落ち込んでおらず安心した。就職先も地元企業がほとんどで、これからの活躍が楽しみである。厳しい状況の中、今年度も大学・専門学校などへの合格者が多く、生徒が将来の夢を実現させようと努力していることが分かった。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none">生徒は、明るく落ち着いた学校生活を送っており、気持ちのよい挨拶、出勤率、年間出席率といった目標が達成できており、適切な指導が窺える。今後は、生活様式に変化がある中でも、挨拶などを通して人とのつながりの大切さを理解して欲しい。また、多感な時期でもあり、友人とのトラブルやSNSでのトラブルなど人間関係にも難しい部分があるので、保護者も学校と連携したい。保護者、教職員のアンケートでは、清掃・片付け・ごみの分別ができていないと思う人の割合が多かったので、来年度は克服してもらいたい。自転車のヘルメット着用については、命の問題であり、引き続き啓発をお願いしたい。 <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none">新型コロナウイルス感染症対策に伴い、中止になったボランティア活動や部活動があったことは、やむを得なかったと思う。学校行事は規模を縮小してであったが、活気のある活動ができていた。また、園児向けの防災教室や東雲公民館での清掃活動、松山乳児院との交流活動、その他の地域行事などにも積極的に参加し、よい体験学習ができています。さらに、生徒自身の企画力を高め、生徒主体の活動を促進していただきたい。併せて、部活動での、良い成績が残せることを期待している。	<ul style="list-style-type: none">来年度から生徒はタブレットを一人1台使って学習することになった。今後は、ICT機器を活用した授業研修会をさらに充実させ、タブレットを有効に利用した授業を展開したい。全校生徒が各種イベントに参加できる機会を作り、自己啓発を通して生徒がより充実感を得られるようにしたい。社会の変化に対応できる問題発見・解決能力を身に付けるよう、キャリア教育の充実や学力の向上に努めたい。進学では、地元の大学だけでなく、全国の大学に視野を広げ、生徒一人一人に対応した進路指導に努めたい。身だしなみや挨拶の重要性を進路指導と結び付けて理解させ、主体的に取り組める生徒を増やしたい。また、日々の生活が制限を受ける中でこそ、周囲と協調・協力できる生徒を育てていきたい。新型コロナウイルス禍のもとの衛生環境を守る必要性を説くことで、率先して活動できる生徒を増やしたい。小さな事故は発生しており、自分の命は自分で守る事の大切さを理解させたい。来年度は、より多くのボランティア活動や地域行事を生徒に紹介し、活動の機会を増やすとともに、生徒がさらに充実感が得られるよう、事前指導を工夫したい。また、様々な地域課題の解決し地域コミュニティに貢献できる活動を目指したい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・良い成績はもとより、生徒のニーズに応じた指導を提供することを通じて、より部活動を活性化させたい。
<p>2 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの指導は大変であったと思われるが、自己評価表からは、影響を受けたとは思えないほどの成果が窺える。生徒にメンタル面での落ち込みや戸惑いが心配される中で、新しい生活様式、社会の変化に沿った対策を講じながら、生徒の活動の場を多く設けつつ、魅力ある学校づくりに励んでいただきたい。 ・教職員の労働時間、環境面での自己評価がさらに向上し、よりよい環境になるよう様々な工夫、対応をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、創立 120 周年ということもあり、今年度縮小せざるを得なかった生徒の活動を、地域と連携して実施し、地域社会に根ざした商業教育を推進したい。 ・教職員全員で学校を運営するという考えのもと、業務量の平準化や適材適所の役割分担、休暇を気軽に取ることができる環境整備をさらに進めたい。

定時制

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の出席状況や習熟度に差があると思うので、生徒個々にあった学習指導をお願いしたい。生徒からは授業に前向きに取り組んでいるとの声も聞かれているので、今後もより一層生徒に寄り添った指導をお願いしたい。 ・検定試験については、意欲的に上位級に挑戦させるなど取組に力を入れていただいていることに感謝している。合格率の目標達成を目指して、継続的な指導をお願いしたい。 <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おそらく入学当初から明確な進路目標を持っている生徒は少なく、高校に通いながら将来の目標を自分で見つけられる生徒も少ない状況だと認識している。したがって、なるべく早い段階から進路に対する意識を持たせ、ハローワークなど関係機関の利用方法や情報の入手方法などを指導していただき、生徒の希望をくみ取った指導をお願いしたい。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制で皆勤を達成することは非常に難しいと思うが、1名でもそれを達成した生徒がいることは、素晴らしいことだと思う。今後も学校に気持ちが向くような生徒指導をお願いしたい。 ・挨拶については、ほとんどの生徒が、登下校時や校内での挨拶ができていようである。内向的な生徒が多いなかで、挨拶は社会で必要とされるコミュニケーション力につながるので、粘り強く継続的な指導をお願いしたい。 ・先生方との面談については、こまめに実施していただいているようである。個々の生徒のそれぞれの事情の把握に努め、積極的な生徒理解に努めていただきたい。 <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会やスポーツデーなど、積極的に学校行事が実施されており、生徒にとっても心に残る活動ができていると感じられる。ただ、昼の時間帯に実施される行事も多くあり、生活リズムが整わず参加できなかったなどの意見も聞かれたため、実施時間帯の検討を可能な範囲でお願いしたい。 ・生徒会の皆さんが積極的に活動している様子をホームページなどから拝見しているので、今後も生徒の主体性を生かした活動を推進していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度から導入される生徒用タブレット電子黒板等 I C T 機器の活用を図り、さらに分かりやすい授業を工夫・研究したい。 ・検定試験に対する意識を高め、挑戦しようとする積極的な姿勢を養うとともに、合格によって達成感や成功体験を味わってもらえるよう、粘り強く指導を継続していきたい。 ・定期的を実施している進路希望調査の結果等を踏まえ、早い段階から具体的な進路実現を意識させ、担任や進路担当による相談機会を増やし、ハローワーク等各関係機関との連携を密にしながら、希望進路の実現を図っていききたい。 ・短期的目標としての学期間皆勤賞への挑戦を奨励し、年間皆勤賞への足掛かりにしていきたい。また、アルバイトより学業を優先することがアルバイト許可の条件ではあるが、逆転しているケースも見受けられるので、指導を継続したい。 ・まだまだ生徒から積極的に挨拶をしてくるような状況ではないが、着実に挨拶の輪が広がっているように感じられる。生徒との触れ合いを大切にしながら、なんでも話し合える関係の構築に努めていきたい。 ・今年度までは学校行事の昼間実施が多く、仕事や生活リズム等の関係で出席できないケースが見受けられたので、学校行事の実施時間帯を可能な限り夕刻以降とするなど、生徒が参加しやすい環境を整えたい。 ・生徒が主体的に動く行事が不足しているので、行事の実施内容や方法も見直し、生徒が自ら企画・運営できるような活動を増やしていきたい。